

新収蔵品展 展示資料一覧

令和6年4月12日～7月21日
山頭火ふるさと館

防府ゆ:防府ゆかりの俳人たち

1	80848	短冊 湯豆腐や陸奥の妓の泣き黒子	高橋飄々子		363×60
2	80842	短冊 藪深し啄まれゆく柿のこる	桑原東寧		362×61
3	80844	短冊 遠島も正月ならん島動かず	宇多村壺天洞	昭和29年	362×60

山頭火 山頭火をかく

4		色紙 分け入つても分け入つても青い山	戸田勝		272×242
5		色紙 ふるさとは遠くして木の芽	小崎侃		271×242
6	68676	短冊軸装 うどん供へて母よわたくしもいたゞきまする 山頭火句	近木圭之介		1780×384
7	80854	雪ふるひとりひとりゆく 山頭火作	大山澄太		327×241
8	80850	色紙 忘れようとするその顔が泣いてゐる 山頭火句	和田健	平成7年12月	273×242
9	80648	色紙 「山あれば山を観る…」	水落龍勝		272×242
10		扁額 分け入つても分け入つても青い山	山田梓江		330×934
11		色紙 笠へぼつとり椿だった	片岡泰鳳		272×242

山頭火 山頭火周辺の俳人たち

12	80834	短冊 冬嶺 秀孤松	河東碧梧桐		364×61
13	80833	短冊 と見れば若き月落ち急ぐ也	荻原井泉水		362×60
14	80840	短冊 野に老いてひそかに見たり冬の虹	兼崎地橙孫		364×61
15	80847	短冊 藪道を出て田の鶴と顔合はず	亘理寒太		364×60
16	68675	掛軸 風狂気匂う背 最晩年の山頭火	近木圭之介		1510×489